

議会運営委員会調査報告書

1 調査事件

議会報告会のまとめについて

2 調査の経過

前記事件を調査するため、平成 29 年 6 月 9 日及び 22 日に当委員会を開いた。

(1) 出席した委員

能見勇八郎 鈴木 逸朗 吉田 俊平 湊本 稔
波多野 優 村田 公夫 山本 正之（議長）木村 圭介（副議長）

(2) 欠席した委員 なし

3 議会報告会の開催概要

議会基本条例及び議会報告会の開催及び運営に関する要綱に基づき、5 月 12 日、15 日、17 日、19 日の 4 日間、4 会場で議会報告会が開催された。

議会からは、各会場に議長を含めて 9 名の議員が、分担して参加し、パワーポイントも活用して、「若者世代定住のための住宅支援について」、「保育料のさらなる減額について」、「朝来市定住促進住宅の整備について」及び「職人技活用住宅改修支援事業について」の 4 つのテーマに基づいて報告を行った。

別紙 1 のとおり市民など延べ 146 名が参加され、119 名からのアンケートが寄せられた。

4 市民の発言について

各会場での市民の質問、意見等の発言は、延べ 29 件であり、別紙 2 のとおりである。

市民の発言は、議会活動に関するものは議会運営委員会に諮り、市政要望に対するものは市長に報告するとともに、請願、陳情の取扱いに準じて所管の常任委員会に回付することとした。またその取組内容については、議会広報や今後の議会報告会などで、市民への広報に努めることとする。

5 市民からのアンケートについて

参加した市民の 8 割強の 119 名から寄せられたアンケートの集計結果は別紙 1 のとおりである。

アンケートに記入された数多くの質問や意見、要望などについても、市民の発言に準じて取り扱うこととするが、記入者が必ずしも公表されることを想定していないこと、記載内容から特定の個人が推定できるものもあるため、委員会としては議員のみへの配布とし、対外的には公表しないこととした。

6 委員会のまとめ

- ・ 今回のテーマは、若者世代の定住施策に関係する項目等について、常任委員会毎に設定した。そして、例年どおり委員会ごとに、それぞれの持ち時間を定めて報告を行い、市民の発言時間を多くとるようにした。会場による差はあったもの

の市民との意見交換も十分に行うことができた。その結果、アンケートでも、「また、議会報告会に参加したい」との回答が8割強となっている。

- 報告は、パワーポイントを活用して行われたが、アンケートでは、報告会全体について「わかりやすかった」との回答が6割強に留まっている。その理由としては、アンケート回答中の「説明が専門的」、「資料の棒読み」「説明が不十分」などの記述に表れていると思われる。一方、配付資料については「適当」、説明時間については「ちょうど良かった」がいずれも8割強であり、概ね良好であったと思われる。
- 今回は、会場数を減らし4会場での開催としたこともあってか、昨年に比べて参加者が著しく減少した。さらに、会場での意見やアンケートでは、参加者の増加に向けた工夫をするべきとの意見が多く寄せられた。議会報告会については、参加者増を図る問題だけではなく、その目的、開催方法、具体的な運営等、原点に戻って検討する時期に来ている。議会運営委員会では協議を継続し、9月定例会までに一定の方向性を出すものとする。

以上、朝来市議会会議規則第103条の規定により報告します。

平成29年6月26日

議長 山本正之 様

議会運営委員会
委員長 能見 勇八郎